

委員会評価報告書

事業名	交通安全対策事業（令和元年度実施）				
担当課・室・係	総務課 防災危機管理室 防災対策係				
事業の目的	市民が交通事故にあわないよう、カーブミラーやガードレール等の交通安全施設の整備を図り、また、免許証の自主返納により高齢者が加害者となる交通事故等の抑止対策を図っている。				
事業の概要	①交通災害共済事業・・・交通事故見舞金の支給 ②交通安全施策の推進・・・市職員による街頭指導等の啓発活動、高齢者への体験型講習、子どもたちへの交通安全教育の促進。 ③交通安全対策特別交付金事業・・・カーブミラーやガードレール、白線などの新設や修繕。 ④運転免許証自主返納支援事業・・・運転免許証の自主返納者へのバス・タクシー券の交付。				
事業結果に対する評価	A きわめて良好	B 良 好	C おおむね適正	D 問題がある	E かなり問題
【問題点など】 交通死亡事故ゼロが1000日を超え、今なお継続中であることは成果といえる。また、カーブミラー等の新設や修繕など市民からの要望に対しては、その年度内で対応しており、評価はBの良好とする。 問題点として、啓発活動（街頭指導）の取組については、地域ごとに大きな差が見受けられる。 また、実績や現状等を勘案し、人身事故発生件数と犯罪認知件数の目標数値を引き下げる方向で検討すべきである。					
事業の今後の方向性	1 拡 充	2 継 続	3 改 善	4 縮 小	5 休止・廃止
【提言など】 ・交通指導員などの人材確保に努めること。 ・各地域の実態を把握し、啓発活動に差が出ないように、市民や事業所に対して地域の実情に応じた活動参加を促していただきたい。 ・件数の目標値を適正に定め、事業の推進を図ること。 ・運転免許証自主返納はその後の生活に大きな影響を与える。返納者には1万円のバス・タクシー券を交付しているが、それが終了した後の手立てが今後必要ではないか。					